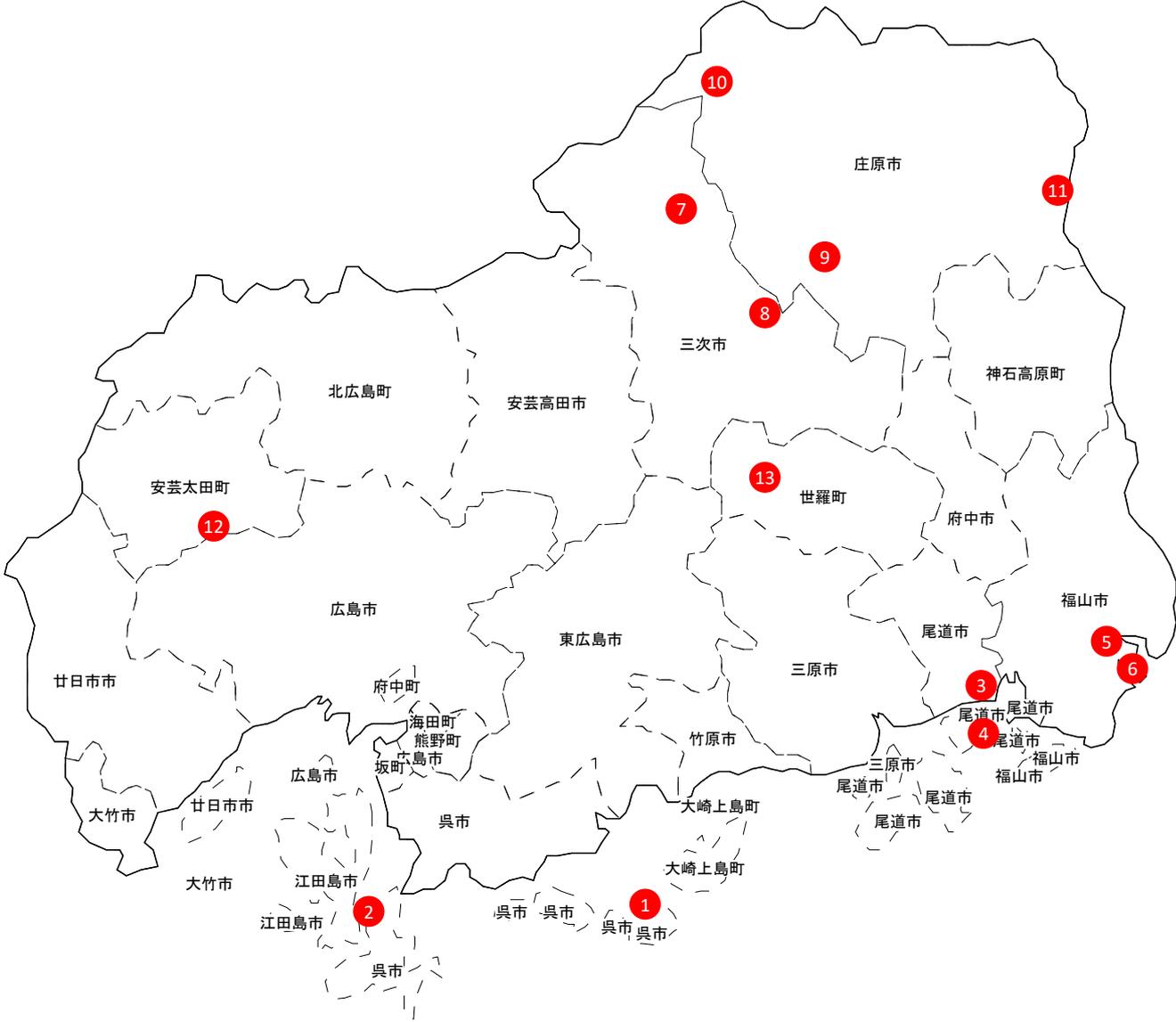


**広島県**

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (広島県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	呉市	ナオライ株式会社	6次産業化	農泊	伝統の継承
②	地方 奨励賞	団体	呉市	山本倶楽部株式会社	6次産業化	荒廃農地対策	高齢者の活躍
③		団体	尾道市	瀬戸内怪獣レモンプロジェクト委員会	農業	企業との連携	荒廃農地対策
④		個人	尾道市	濱浦 志保香	農業	6次産業化	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑤		団体	福山市	福山くわい出荷組合	農業	6次産業化	伝統の継承
⑥	地方 奨励賞	団体	福山市	若井農園	農業	雇用	多様な分野との連携
⑦		団体	三次市	石原ひまわり会	荒廃農地対策	鳥獣被害防止	農村環境・景観保全
⑧	地方 奨励賞	団体	三次市	株式会社福田農場	農業	6次産業化	高齢者の活躍
⑨		団体	庄原市	広島県立庄原実業高等学校	農業	輸出	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑩		団体	庄原市	農事組合法人 高野りんご加工組合	6次産業化	地産地消	関係人口の創出
⑪		個人	庄原市	藤本 聡	農業	環境保全(農林水産業・食品産業)	食育・教育
⑫	地方 奨励賞	個人	安芸太田町	友松 裕希	6次産業化	棚田保全	地産地消
⑬		団体	世羅町	おぐにフィールド	農業	スマート農林水産業	農村環境・景観保全

# 応募地区所在市町図（広島県）



かぶしきがいしゃ  
**ナオライ株式会社**  
時をためて、人と社会を醸す

概要

- 日本酒文化の継承 x 地域の特徴をテーマに、商品開発し地域の問題解決に向けて自然が再生するようなモデルを目指し活動。
- 特産品のレモンをテーマにした酒の開発をきっかけに、レモン栽培を始め、自社と地域の農家が栽培したレモンの皮と果汁を無駄なく使用した商品を開発し販売。
- 三角島に「五心庵」という一棟貸しの宿をつくり、自社で製造した「浄耐」というお酒を楽しめる「食体験」や実際にレモン栽培を体験できる「農体験」を提供。



レモンと日本酒を活用したお酒 琥珀浄耐



レモンの皮を活用したエッセンシャルオイル



三角島に設立した農泊、一棟貸し宿五心庵

成果

- レモンを使った商品の販売増加に伴い、地域のレモン農家との連携が拡大。また、市場価格より高額で買い入れることで、地域農家の所得向上に寄与。
- 令和5年に日本航空と連携して行ったモニターツアーを通じて、国内外から来客及び問い合わせが増加。

〒734-0304 呉市豊町久比3960番地三角島  
03-6801-5638 hi@naorai.co

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

やまもとくらぶかぶしきがいしゃ  
**山本倶楽部株式会社**  
安芸の島の実プロジェクト

概要

- 耕作放棄地が拡大していく事に危機感を覚え、官民が連携し地域活性化を目指した「安芸の島の実プロジェクト」を立ち上げ、地域農家の方々とともにオリーブの栽培を開始。
- 収穫された地域のオリーブは、当社が買い取り「江田島オリーブファクトリー」でオリーブオイル等の加工、販売。製造したオリーブオイルは毎年、海外のコンテストで賞を受賞。その他レストラン、ショップも併設。



地元中学生による収穫体験



イタリア製の搾油機を導入



各種オリーブオイル商品

成果

- 地域におけるオリーブの収穫量は令和5年度に12トン（自水分含む）となる等、栽培面積拡大により耕作放棄地解消に寄与。
- 作業にはシルバー人材の参加や小中学生の視察受け入れなど人的交流を行っている。また、オリーブの搾り粕を農業高校の豚の飼料として活用するなど連携が広がった。
- 加工場に併設したレストラン・ショップ、地域の雇用創出や経済活性化に寄与。

〒737-1216 呉市音戸町田原三丁目15-10  
0823-52-2201 shop@hiroshima-olive.jp

関連情報はこちら ▶





せとうちかいじゅう  
**瀬戸内怪獣レモンプロジェクト委員会**  
 いいんかい  
 「怪獣レモン」と、規格外の未来を耕せ！

**概要**

- 尾道の美しい景観と柑橘農業を守るため、それまで低価格で取引されていた規格外のレモンを高付加価値化することで、農家の収益向上と後継者問題の解決を目指す。
- 見た目のゴツゴツした規格外レモンを怪獣に見立て、「怪獣レモン」としてブランド化。
- 地元企業のみならず全国メーカーともスナック菓子やスイーツ、飲料などの商品を開発・販売。

**成果**

- 瀬戸内の豊かな資源を活かした商品を次々と開発し多くの消費者の支持を獲得。
- 地元食品流通大手と業務提携し、商品はより広範な地域に浸透。
- 農家の所得向上や地域の雇用創出を実現開始。
- 大学生を対象としたインターンシッププログラムを提供し、地方創生に向けた次世代リーダーの育成にも注力。



怪獣レモン



地元企業コラボ商品



遊園地に大規模売り場を構築

〒722-0052 尾道市山波町247-7  
 090-4897-7304 info.monsterlemon@gmail.com

関連情報はこちら ▶



はまうら しほか  
**濱浦 志保香**

生命と環境を考慮 自然農法で自家産品を開発

**概要**

- 先代は、昭和28年に漁業からみかんや梅の農業生産へと生活の基盤を移行。
- 昭和57年に就農し、平成25年に生前の先代が悲願としていた「環境に優しい自然農法」を達成。
- 3月は梅の花見、6月は梅もぎ体験、9～10月は日本いちじくのもぎとり体験を開催。
- 自家及び地元生産物を自家加工し、道の駅やHPで販売。

**成果**

- 「もったいない精神」で取り組んだジャム1品から始まり、40年の時を経て約10種類50品目以上の農産加工品を開発。
- 土産店、観光ホテル、量販店、高速道SA、卸店、OEM品等50店舗以上で取扱い。通販業務は加工品ギフトや青果の受注販売等、多岐に渡る。
- 広島県労働局の補助事業を活用して労働環境改善を遂行。かねてより地元の雇用創出、地域活性化に寄与。



万汐農園 満汐梅林 花見風景



加工場 炊き込み風景

〒722-0073 尾道市向島町2387-10  
 090-1684-0818 manchou3@yahoo.co.jp

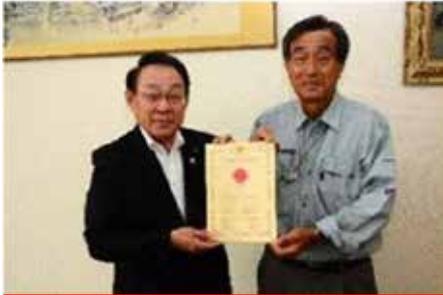
関連情報はこちら ▶



ふくやま しゅっかくみあい  
**福山くわい出荷組合**  
 地域の活性化、ブランド力強化！

**概要**

- くわいの共同出荷に取り組むことにより産地間競争で優位に立ち、市場に対して一定の供給量を確保することによって特産地としての信頼を得た。
- 農地及び生産者の減少が進む中、関係機関と協力し新規就農者募集、離農者の圃場で作付けを行うなど、産地を維持。
- G I 取得による生産体制・ブランド力を向上。
- おせち料理食材で文化的食材である「福山くわい」の食農教育。



地理的表示保護制度の登録

**成果**

- 芽が出る食材（縁起物）として、季節を問わず販売を行う以外に、規格外品のくわいを使用したスナック菓子のほか、ポタージュ・うどん・焼酎・レトルトカレーなどを開発・販売。
- ブランド力向上により、加工用くわいの単価向上と正品の売上増加により農業者の所得が向上。
- 伝統野菜の需要維持・継承。



6次産業化の取組

〒720-0822 福山市川口町2-12-7  
 084-981-2455 jfk920@jafukuyama.or.jp

関連情報はこちら ▶



地方  
 奨励賞

わかいのうえん  
**若井農園**

アジア野菜を通じた多文化共生へ

**概要**

- 若井代表が外国人技能実習制度を利用し、インドネシア人のカーエル・ファーミ氏と妻の先家氏の3名で活動を開始。
- 在留外国人が母国で主流に食べているアジア野菜を届けることをきっかけとして、日本とアジアの多文化共生を目指す。
- 全国のインドネシア人達に届けるため、自社の直売所のほか、SNSを通じてオンラインで野菜、ハラル食品を販売。
- コンテナハウスを改造したイスラム礼拝所を作る。



アジア野菜直売所 左若井代表 右ファーミ氏

**成果**

- アジア野菜の売上高は初年度比で6.4倍へ増加。
- 芋掘りや「トウモロコシ奨学金プロジェクト」等、外国人と関わることができるイベントを開催し延べ300人以上の日本人と外国人が畑で交流。
- 外国人のお母さんたちの雇用が、日本語を話すことができない母親と子供ら、キリスト教やイスラム教等の宗教感を大切にしている人々のコミュニケーションを生み、孤立を防ぐ取組へとつながった。



畑に広がるアジア野菜

〒721-0957 福山市箕島町324-1-1  
 090-8527-8052 info@wakaifarmmy.com

関連情報はこちら ▶



いしはら かい  
**石原ひまわり会**  
女性が動けば地域が変わる

**概要**

- 稲作を主体とした中山間地域において深刻化する農作物への鳥獣被害防止に役立ちたいとの思いから、観光交流拡大を目的に転作田にひまわりを咲かせた「ひまわりまつり」を行っていた集落女性が主体となって「石原ひまわりの会」を立ち上げた。
- 会員が主体となって、遊休農地を活用した鳥獣被害に強い野菜栽培モデル圃場を設置。
- 中山間地域直接支払交付金事業役員や農地利用最適化推進委員へ当会の女性会員が就任。



モデル圃場に設置した看板



作物管理棚設置作業



外部講師を招いての6次産業化研修

**成果**

- 会の設立をきっかけに、これまで個々の農業者が行っていた鳥獣被害対策を、集落一体で取り組むようになり対策効果が向上。
- 6次産業化に係る研修を開催したり、収穫した野菜を直売所、障害者就労事業所などに出荷したりし、耕作放棄地の再生に寄与している。
- 各種集落の組織活動の女性役員の選任が拡大。男性主体の議論であったものが、和やかな雰囲気の中で、時間のけじめがある進行が図られるようになった。

〒728-0404 三次市君田町石原151  
090-9061-5165 kogawa.mtr@p1.pionet.ne.jp

地方  
奨励賞

かぶしきがいしゃふくだのうじょう  
**株式会社福田農場**  
地域と共に農の恵みを人の笑顔に繋げる

**概要**

- 組合員の高齢化で継続が困難となった任意営農組合に代わって、現在の代表取締役が株式会社福田農場を平成19年に設立し地域の担い手となった。
- 従業員の生活改善と就労機会の場として、自社加工所での味噌、餅、コンニャク、総菜等の農産加工品づくりを行い、6次産業化を推進。
- 自家生産の米などを活用して製造した米粉パンを自社店舗のほか、移動販売車で事業所や高校に訪問販売。

**成果**

- 設立当初の経営面積は36haであったが、複数品種の稲作、大豆などの組み合わせによる作業分散により、令和6年には79haに拡大。
- 従業員が製造した農産加工品を県内の道の駅やスーパーなどで販売。従業員にとって、生涯社会参加の生きがいとなっている。
- 米粉パンの訪問販売は好評で、特に高校生から人気を博しているほか、地元小学生に米粉パンづくりの体験指導を行っている。



西組集落住民を雇用した農産加工品づくり



米粉パン 農産加工品販売店



地元小学生に米粉パンづくり体験指導

〒729-6201 三次市和知町2682-2  
0824-66-2765

関連情報はこちら ▶



ひろしまけんりつしょうばらじつぎょうこうとうがっこう

## 広島県庄原実業高等学校

庄実Nashi（ナシ）が海を渡る

### 概要

- 日本ナシとブドウのASIAGAP認証を平成30年に取得（中国・四国地方の高校では初）。
- 果樹園芸研究室の活動で、国内人口の減少・高齢化による農産物消費の減少や農業生産基盤の維持困難を知り、果樹生産者の所得を確保し農業の生産基盤の維持を目的とした海外への販路開拓、GAP認証ナシの海外輸出を目指す。
- 環境に配慮した安心・安全なナシを輸出するため、「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証を取得。

### 成果

- 令和3年度に県内農業高校では初めてナシの海外輸出（香港へ二十世紀梨100kg）を実現。以来、継続して輸出に取組み、輸出したナシはすべて完売。
- 販売員から「シャキシャキとして甘く、外観はきれい」と高評価だった一方、果皮について「皮ごと食べるので薄いほうが良い」と指摘があったことから、健康・美容効果などの機能面をPRすることとした。国内でも説明POPに「皮ごと食べる」ことを提案し、新たな魅力発信と販促につなげている。



輸出出荷箱の前で記念撮影



香港現地販売員とのWeb会議



果皮の機能性成分をPR

〒727-0013 庄原市西本町一丁目24番34号  
0824-72-2151 shobara-h@hiroshima-c.ed.jp

関連情報はこちら▶



## 農事組合法人 高野りんご加工組合

まるごとギュッ！高野りんごの果汁です！

### 概要

- 農家の収入向上と高野りんごの知名度向上を目的とし、平成6年9月に高野町内のりんご生産者13名で任意組合を設立、平成22年6月に法人化した。りんごジュースの加工販売を30年以上続けている。
- 「道の駅たかの」開業に伴い、ジュースの製造販売に加え、収入増と規格外果実の利用のために、りんごの発泡酒（シードル）の開発に挑戦。県立広島大学・道の駅・醸造所・同組合の思いがつながることにより、商品が完成し販売に至った。

### 成果

- シードルに使われるのは酸味の強い品種だが、知名度が高く甘く蜜入りの「ふじりんご」を使用した「高野シードル」を製造。
- 元来のシードルの味に近づけるため、味は素晴らしいが栽培に手間がかかる「ゴールデンデリシャス」に着目。本来は廃棄される未熟で酸味がある生育途中の摘果果実を丁寧に収穫し、こだわり商品を開発。
- 豊富な品種を活かしたシードルの商品展開と、生食とは違う「高野りんご」の楽しみ方を提案し、新しい客層増加を目指す。



若積みシードル用の摘果りんご収穫直後



よく冷やしたシードルで、シュワッと乾杯！



甘口・辛口・ロゼ・シードル・りんごジュース

〒727-0423 庄原市高野町下門田318-1  
0824-86-3833

ふじもと さとし  
**藤本 聡**

一粒の米から万の笑顔を

概要

- 地域・消費者・環境・家族への安心を深化させ、農家から農業経営者へ発展させるため株式会社藤本農園を設立。農村交流施設「あいがもや」をオープン。
- 田植え歌の保存会を設立し、地元小学校での交流会、地元の祭り等で披露。地元小学校での食育指導や広島市内の小学生に合鴨農法を体験できるプログラムを提供。
- 米の食味コンテストで優勝したことをきっかけに庄原市ブランド米推進協議会を結成。

成果

- 合鴨と機械除草による化学農薬不使用栽培の実践と普及。近隣家畜ふんと落ち葉を混ぜて作った堆肥で地域の環境負荷低減栽培を主導。G7広島サミットのレセプションで合鴨米が使用される。農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」で三ツ星取得。
- 消費者向けのセミナーでは、農業体験交流・意見交換を開催し、年々参加者が増加。
- 各種食味コンテストでの受賞などの情報発信を行うとともに、さらなる技術の向上で販売促進を進める。



田んぼであいがもと



交流会にて田植え歌に合わせて手植え体験



G7広島にてCO2見える化事業をPR

〒729-5127 庄原市東城町粟田2939  
08477-2-2528 info@aigamoya.net

関連情報はこちら▶



地方  
奨励賞

ともまつ ゆうき  
**友松 裕希**

棚田のファンが集う、地産地消のカフェ

概要

- 地域おこし協力隊として、井仁の棚田の地域活性化を目的に活動。任期終了後は棚田のファンが集えるよう、「棚田カフェイニミニマニモ」をオープン。
- 棚田や自然の体験活動やイベント（オカリナ教室、藍染、味噌作り、茶摘み体験、ジャズコンサート等）を開き関係人口創出。
- 地域の方の指導のもと自ら作った米や、町内で廃業した製菓屋さんの有名スイーツを伝授してもらい、提供・販売を行う。

成果

- お米や野菜を使ったランチ等をカフェで提供して視覚だけでなく五感で棚田を楽しみ、滞在時間を増やす。また、メディア取材が増加し、広島県を中心に棚田とカフェの認知度アップ。
- 来訪者増加を受けて地域の方々が休耕田を活用。花畑を整備。
- 米粉を使った焼き菓子（クッキー等）を製造・販売。カフェの他に、道の駅や広島駅、ネットでの販売も行い、棚田の認知やお米の消費拡大に繋がっている。



カフェからの棚田の景色



カフェでの教室開講による賑わい作り



米粉や地域の食材を使った地産地消スイーツ

〒731-3702 山県郡安芸太田町中筒賀629-2  
0826-22-6789 y.tomomatsu27@gmail.com

関連情報はこちら▶



# おぐにフィールド

## 未来に続くくみを創造し次代に繋ぐ！

### 概要

- 小学校区内で設立されている4つの集落営農法人が、持続的経営に向けて、経営課題の共有化と解決のため、連携組織を設立。
- 各法人所有の農業機械の共同利用、共同利用機械施設の設置と地域の農作業受託。資材等の共同仕入れと生産物の共同販売。
- 耕畜連携による新たな仕組みづくり。
- 小国地区振興協議会と連携し、農が中心となった地域課題解決への挑戦。食農教育との連携。



原料とバウムクーヘン



田植え交流会



ラジコン草刈り機の実証

### 成果

- 令和元年度のドローン導入により連携組織の防除面積50haに加え、高齢者による作業が困難な農地20haの受託作業を行い、地域農業の持続化に貢献。
- 地域の養鶏場から生じる鶏ふんを活用した資源循環の稲作を提案。窒素の全成分の50%を置き換えるとともに、農薬を当地域比20%削減し「3-Rせらにしあきさかり」として販売。米粉用米にも取り組み、バウムクーヘン、アイスクリーム等を商品化。
- 西日本農業研究センターのラジコン草刈り機の開発・実証に協力。

〒722-1701 世羅郡世羅町小国4975  
0847-37-1068 d232885@hiroshima-u.ac.jp

関連情報はこちら ▶

